

昭和五十四年度大会の概況 日本思想史学会の昭和五十四年度大会は、十一月十七日(土)・十八日(日)・十九日(月)の三日間にわたり、皇学館大学を主会場として開催された。

第一日は、「本居宣長の思想」と題する主題発表が行なわれた。

主題発表の分担テーマと発表者は次のとおりである。

- | | | |
|-----------------|----------|--------|
| 1、宣長における古道論と歌道論 | 東京大学教授 | 相良 亨 |
| 2、宣長における学問と信仰 | 東北福祉大学教授 | 梅沢 伊勢三 |
| 3、宣長における「神」と「人」 | 大阪大学助教授 | 子安 宣 邦 |

なお、司会者は、渡部正一(東京成徳短期大学教授)・玉懸博之(東北大学助教授)の両氏であった。主題発表終了後、伊勢市内の「かいづ」において懇親会が催された。

大会第二日は研究発表と総会が行なわれた。研究発表は午前と午後、それぞれ二会場に分れて行なわれたが、発表者は次の諸氏である。

- | | | | |
|------------------------------|-------------|----------------|---------|
| 1、埼玉稲荷山鉄剣銘文の史料批判 | ——田中卓氏に問う—— | 小山工業専門学校講師 | 古田 武彦 |
| 2、『日本書紀』における天の思想 | | ノートルダム清心女子大学講師 | 松島 隆裕 |
| 3、『続日本紀』天平勝宝八年十二月三十日条小考 | | 東北大学大学院 | 八重樫 直比古 |
| 4、道綱母の年始観 | | 仏教大学大学院 | 矢沢 勢紀子 |
| 5、鎌倉時代の北野天神信仰について | | 中央大学大学院 | 今堀 太逸 |
| 6、道元の修行論と身心脱落 | | 仙台市立女子商業高校教諭 | 半田 栄一 |
| 7、道元禅の一性格——感応道交をめぐる—— | | 東北大学大学院 | 加藤 健一 |
| 8、素行学の誠について | | | 前田 勉 |
| 9、貝原益軒の思想——天・天命・常・変の観念をめぐる—— | | | 佐久間 正 |

長崎大学講師

- | | | |
|-----------------------------------|----------------|-------|
| 10、『大元神一秘書』と度会行忠 | 東北福祉大学講師 | 高橋美由紀 |
| 11、日本思想史上に於ける「茶の湯」の問題点について | 東海大学助教 | 本多良隆 |
| 12、宣長の表現の性格 | 東京大学大学院 | 菅野也寸志 |
| 13、幕末の思想史状況への照射——吉田松陰の革命思想—— | 東北大学大学院 | 岡崎正道 |
| 14、藤田茂吉『文明東漸史』の精神史的構造 | ノートルダム清心女子大学教授 | 藤原正暹 |
| 15、井上毅の思想——実業教育をめぐる—— | 東北大学大学院 | 藤元博文 |
| 16、内村鑑三と近代日本 | 青山学院大学院 | 小原祐信 |
| 17、徂徠学の政治思想史的研究 | 東北大学大学院 | 田尻祐一郎 |
| 18、慈雲における密教の位相——『人となる道』の構造とその基底—— | | |
| 19、中井竹山の徂徠批判 | 大阪大学大学院 | 黒木幹夫 |
| 20、中井履軒の史学 | 大阪府立松原高校教諭 | 小堀一正 |
| 21、海保青陵の「老子」学 | 富田林市史編集室嘱託 | 山中浩之 |
| | 東北大学大学院 | 八木清治 |

総会は十一時半より行なわれ、事務局から五十三年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より五十四年度事業計画案および予算案が提出され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

大会第三日は、伊勢市周辺への見学旅行が行なわれた。参加者は五十余名であった。